

販売店様 施工店様 各位

株式会社NFブロッサムテクノロジーズ

水害で被災した蓄電システムへの注意ご徹底のお願い

蓄電システムが水害に被災した場合、リチウムイオン蓄電池を内蔵しております事も含め、安全面に細心の注意を払って取り扱いを行う必要があります。

つきましては、事故防止の観点から、販売店様・施工店様には以下の点にご注意頂くとともに、お客様に対しましても、その内容を確実にご伝達くださいますよう、お願い致します。

販売店・施工店様、お客様にご注意いただく事項

(1) 基本的な重要事項

- ①蓄電システムには、絶対に素手で触れないよう、ご徹底をお願いします。
特段の破損が無く、停電状態であっても、水没・浸水の影響で感電する恐れがあります
作業のためやむを得ず触れる場合は、絶縁ゴム手袋、絶縁ゴム長靴着用等の感電防止対策を必ず行って下さい。
- ②蓄電システムの内部ブレーカを、必ず「オフ」にしてください。
※内部ブレーカ操作は、本製品の施工知識及び電気設備に十分な知見を持つ方が必ず行って下さい。
- ③第三者が感電事故に巻き込まれないよう、蓄電システムに注意喚起の表示をお願いします。
- ④水没・浸水した蓄電システムは、水が引いた後、動作する可能性もありますが、**適切な確認や修理を行わないままでの使用は事故に繋がる恐れがあり、絶対に行わないでください。**
- ⑤蓄電システム（リチウムイオン蓄電池を含む）の廃棄は、法律上の「一般廃棄物」として処理をお願いします。

(2) 被災した蓄電システムの具体的な取り扱い

1) 蓄電システムの状態確認

「水害被災レベル」(別紙ご参照)に基づいて、水没・浸水の状態を確認してください。

- ・レベル1： 本体の浸水被害は無いものと考えられます。
- ・レベル2，レベル3：**絶対に使用しないでください。**

⇒ 万が一、お客様がそのまま使用を継続する意向を示された場合でも、
「安全上の問題があり、ご使用を中止いただく必要がある」旨をお伝えください。

2) 蓄電システムが動作していない場合の暫定処置，屋内停電からの復旧

蓄電システムは，水害被災で故障すると，地域の停電が復旧した後も屋内の停電が継続したままになります。復旧のため，施工マニュアルを参照の上，以下の作業を実施してください。

- ⇒ STAND ALONE, GRID CONNECTION の各 ELB ブレーカをオフにする。
- ⇒ BPU のブレーカをオフにする。
- ⇒ 蓄電システムを切り離す工事を行う。

3) 修理の実施（蓄電池の交換，または全部品の交換）

- ・レベル2： リチウムイオン蓄電池の交換による修理が必要です。
- ・レベル3： 全部品の交換（リチウムイオン蓄電池交換を含む）による修理が必要です。

※いずれの場合も，水没・浸水により生じた，製品きょう体内部の清掃を実施する必要があります。

4) 廃棄

被災した蓄電システムを廃棄する場合には，法律上の「一般廃棄物」の扱いとなりますので下記までお問い合わせください。

撤去並びに廃棄に関する問い合わせ先

「住宅・店舗用リチウムイオン蓄電システム お客様相談窓口」
電話 0120-547-125 受付時間 9:00～17:00（365日）

弊社について

弊社は、株式会社エヌエフ回路設計ブロックと伊藤忠商事株式会社とにより、蓄電システムの開発、生産、メンテナンスを一貫して行う合弁会社として昨年12月に設立され、株式会社エヌエフ回路設計ブロックから当該業務を全面的に引き継いでおります。

以上

別紙

「水害被災レベル」

レベル1：蓄電システム脚部までの水没（底面が水に浸からず、きょう体内の浸水無し）

レベル2：蓄電池までの水没または浸水（下図の一点鎖線の下部まで）

レベル3：インバータ・リレーユニットに及ぶ水没または浸水（下図の一点鎖線の上部まで）

※レベル2、レベル3に該当した場合は絶対に使用しないでください

以下の図の単位はmmです。

